



タイトル「**2024年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4902		
科目名	スポーツ・インターンシップⅡ		
担当教員	近藤 克之		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	集中		
講義室		単位区分	
授業形態	実習	単位数	
科目大分類	専門科目		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	キャリア		
科目の位置付け（開発能力）	■DPコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP2 - A〔日本の精神文化を理解し多様な価値を受容する姿勢〕 地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 DP2 - B〔自己の特性を理解し社会に貢献しようとする姿勢〕 自己の存在意義を知り、自らを高め続けようと努力することができる。 DP6 - K〔表現力・対話力〕 文章および口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP8 - M〔省察力〕 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■CRコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（CR）との関連 A1 グローバル感覚 — 10% A2 異文化適応 — 10% B1 自己啓発 — 10% K1 ライティング・コミュニケーション — 10% K2 オーラル・コミュニケーション — 10% M1 統合的・応用的学修 — 50%		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	本実習は、様々なスポーツ事象における活動（コーチング、イベント運営等）を対象に実践力のある社会人になるための職能形成を目指す基礎的な実習です。学生のこれらの活動を支援するために事前指導を行うとともに、活動内容は本学部所定のインターンシップ活動報告書に記載し、提出します。授業形態は実習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード スポーツインターンシップ、キャリア、反省的实践		
授業の趣旨	■副題 大学で何を学び、将来どのように働き、生涯を通じていかにして生きてゆくかを自身で決めて行動していく力をつけよう。 ■授業の目的 本授業の目的は、受講生が自らの専攻や将来のキャリアに関連した就業体験を通じ、職業意識や職業観を涵養し、自己の職業適性や将来設計を考えることができるようになることです。また自身のキャリアの転換、リセット、リスタートを余儀なくさせるライフイベントがいつで		

	も、誰でも起こりうる現代社会では、“自ら考える力”が求められるため、大学で学修することの目的を理解し、主体性を持って課題に取り組み、社会の一員として何ができるのかを考えることを目指して行きます。 ■授業のポイント 本授業は、スポーツに関連する事業を展開する企業や団体等で研修を行います。社会での働き方としてスポーツに関わる職業を目指す際に、研修を通してその具体的な姿を直視することによって、求められる能力やスキルのみに着目するのではなく、社会で働く意味を考えて欲しいと思います。
総合到達目標	■学生自身の興味関心度の高い分野や就きたい職業分野に関連する企業等での就業体験を通じて、講義等で得た知識を基にしながら実社会において仕事をする意味を認識し、社会や組織の中で生きていくために必要な態度を身に付ける。 ・今後の職業選択や進路適性の確認に向けて、自身の学習方針を自ら記述できる。【知識】（第1回から第15回） ・社会人に求められる社会的スキルを意識して実施できる。【技能】（第1回から第15回） ・先輩や社会人（OBOGを含め）に接し、社会で働く意味を尋ねることができる。【態度】（第2回から第15回）
成績評価方法	■事前指導（30%）：適用ルーブリック A1・A2・B1・K1・K2・M1 （評価の観点）エントリーシートの記述内容や読書課題に対するレポート（3回）が適切に記述されているか確認します。また、面談時には教員の質問に対して自身の考えを踏まえ明確に応答できているか確認します。 （フィードバックの方法）教員が確認し、提出書類や面談記録にコメントを添えて、受講生個々に返却します。 ■研修記録（30%）：適用ルーブリック A1・A2・B1・K1・K2・M1 （評価の観点）研修記録の項目順に、情報を整理し、不確かな箇所は質問などを行い記述されているか確認します。また、研修中に自身が感じた内容を整理し、今後の学習や活動にどのようなつながっていくか記述されているか確認します。 （フィードバックの方法）教員が確認し、コメントを添えて、受講生個々に返却します。 ■プレゼンテーション・事後指導（10%）：適用ルーブリック A1・A2・B1・K1・K2・M1 （評価の観点）個人発表として、Microsoft Powerpointに研修内容を整理し、所定の時間内で明確に発表することができているか確認します。 （フィードバックの方法）教員が確認し、評価シートを受講生個々に返却します。 ■授業参加度（30%）：適用ルーブリック A1・A2・B1・K1・K2・M1 （評価の観点）発言、質問、意見の交換など、研修中の活動も含め、授業構築への参加度を記録します。 （フィードバックの方法）教員が記録し、コメントを添えて、受講生個々に返却します。
履修条件	「スポーツインターンシップⅠ SSCS 4901」（3年次前学期配当）を履修していることが条件です。
履修上の注意点	スポーツインターンシップを受講するためにはガイダンスに必ず出席し、エントリーシートを提出する必要があります。また、受講の可否はガイダンスへの出席、エントリーシートの内容、GPAの結果を踏まえて決定します。インターンシップの研修期間は、連続した5日以上の日程で構成され、冬季休暇中の日程を予定しています。研修先の企業・団体等は、本学部との協定を結んだ機関となります。単位認定には、スポーツインターンシップに関わる一連の過程に全て出席（参加）する必要があります。
授業内容	長期休暇中の連続した5日以上の日程にて、インターンシップを行います。本授業は集中形式で開講し、事前・事後指導の内容を含め、ガイダンスで詳細を示します。
関連科目	「スポーツインターンシップⅠ SSCS 4901」（3年次前学期配当）、「スポーツインターンシップⅢ SSCS 4903」（4年次前学期配当）
教科書	教科書は特にありませんが、資料を配布します。
参考書・参考URL	開講時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜日の4時限目と水曜日の5時限目に設定しています。指定時間以外でも対応しますので、その際には予め、アポイントメントをとることにより研究室で対応します。
研究比率	



Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.